



環境・社会・ガバナンス（ESG）問題にかかる方針

2018年5月改定

方針制定の経緯

ティー・ロウ・プライスでは、ファンダメンタル分析を投資判断の基礎に置き、ボトムアップ型アプローチを介して企業のビジネスモデルの長期サステナビリティとそのビジネスモデルを変化させる要因を理解するよう努めています。当社では、環境・社会・ガバナンス（ESG）問題は投資のリスクとリターンに影響することがあると考えており、投資のファンダメンタル分析においてはESGリスクを考慮に入れています。

こういった考え方の下、当社は責任投資原則（PRI）¹に署名しています。当社では、責任投資原則（PRI）のフレームワークは投資家同士の前向きな対話を促し、グローバルに各国企業の情報開示を改善する有効な手段であると考えて賛同しています。当社のESG分析は、クライアントに優れた長期投資リターンを提供するという当社の最終的な目標を補完する役割を果たします。

指針

顧客資産にESG要因がどう影響するかを判断するのは主にはアナリストとポートフォリオマネジャーの仕事であり、社内の投資スペシャリストである「責任投資チーム」と「コーポレートガバナンス・チーム」の2つのグループがそれをサポートしています。当社のアプローチは以下の基本理念に基づきます。

- 1. 協力：**当社では、企業、投資家、政府の三者がいずれも企業情報の開示の改善と企業行動の長期サステナビリティの強化において何らかの役割を果たすべきであると考えています。
- 2. アカウンタビリティ：**当社の投資アナリストは企業業績に重大な影響を与える可能性のある要因をすべて精査する責任を担い、かかる精査に必要な専門のリソースを確保し、そういったトレーニングも受けています。
- 3. ファンダメンタルリサーチ：**ESG分析とエンゲージメントは、その企業をよく知る経験豊富な投資家が先導するのが最も効率的であり、また適切な文脈に沿ってそういった取り組みを評価するという役割においても適任であると考えます。
- 4. スチュワードシップ：**当社は、熱意ある投資家として当社の責任は銘柄購入の判断を以ってなくなるものとは考えていません。ポートフォリオで保有する企業の経営陣と定期的に対話します。
- 5. 重要性：**顧客のポートフォリオで保有する企業については、その企業の業績に重大な影響を及ぼす可能性が高いと思われるESG要因に注目します。

¹2006年発足。責任投資原則（PRI）は、環境・社会・ガバナンス（ESG）問題を投資プロセスに組み込むために資産所有者と資産運用会社がその支持を宣言している自主的な最善慣行基準です。

ESGの論点をいかに組み込むか

顧客のポートフォリオで投資する企業の持続性を評価するに当たっては様々な要因を加味します。要因については、広義で見ればその企業のキャピタルスチュワードシップ、アカウンタビリティ、透明性、リーダーシップの質、戦略・執行力、業界内における競争力、人的資本の管理、リソースの有効活用等が含まれます。

ESG要因の評価は、分析対象となる国、業界、企業そして経営者に大きく左右されるため、どの論点を考慮すべきかは投資対象によって異なります。幅広いESGの論点の中でも、投資リサーチの過程において考慮する問題は、例えば、以下のようなものが挙げられます。

- ・ 規制、原材料の調達とコスト、水、エネルギー、その他の重要な要因を含む長期的な環境面での判断要因
- ・ 企業のインセンティブ制度。並びにその企業が掲げている企業戦略とそのインセンティブ制度がどの程度整合しているか
- ・ サプライチェーンのリスク、ストライキ、労使紛争等
- ・ 取締役会の質と多様性
- ・ 現在および今後変化する可能性のある規制環境。特に、規制が厳しい業界や議論的になっている状況については、今後の世界経済と業界の変化も考えて注意しています。
- ・ 企業による情報開示の相対的なクオリティ、投資家の利益に対する関心度、ステークホルダーとの対話やエンゲージメントに関する理念等

ESGリスクを投資判断に組み込む責任は、リサーチのプラットフォーム全体で共有しています。ティー・ロウ・プライスでは、各分野でのエキスパートと言えるアナリストを擁しています。それぞれが特定の地域/セクターを担当しており、10年以上同じ企業を担当しているアナリストも存在します。アナリストらは、企業の経営陣と面談し、現地訪問を行い、その企業および業界の詳細な調査分析を担当します。

アナリストによるESGリスク要因の分析を補完するため、社内には、責任投資問題、コーポレートガバナンス、議決権の代理行使を手掛けるスペシャリストのチームを置いています。彼らスペシャリストは投資リサーチ部門に所属しており、このような社内の専門家集団が、投資アナリストやポートフォリオマネジャーに対して彼らが担当する投資対象に最も関わりが深い環境・社会・ガバナンス問題を把握できるようサポートし、その問題について発行体企業に関与できるよう後押しします。

当社の最終的なゴール：顧客のための優れた長期投資

ポートフォリオはいずれも許容可能なリスクに見合った長期リターンを提供することを目指して運用しています。様々なESGリスクとその他の投資基準を合わせて評価し、理解することにより、顧客のために安定的に卓越した長期投資リターンを達成できる可能性が高まると考えています。

詳細情報

スチュワードシップと責任投資に関するティー・ロウ・プライスの取組みにかかる追加情報は、当社サイト（[T. Rowe Price ESG Policy](#)）（英語）をご参照ください。

このサイトには、当社の責任投資ガイドライン、エンゲージメント方針、議決権代理行使の方針と手順、議決権代理行使の記録およびその他のリサーチ資料や情報開示が掲載されています。